

1. 保育について

- ・細かな保育等の自己反省チェックを今年度からは年4回実施して反省を積み重ねており、保育者が自己反省を踏まえて保育を改善し、意欲的に保育の質を高めようと努力しておりました。
- ・上記のような改善を図ろうとする際には、職員間でより保育について話し合える機会が必要になるとの意見がありました。そのような機会をどう確保するかが園としての課題と考えられるので、時間を生み出すよう運営改善を図ることが望まれます。
- ・保育での子どもの安全を確保することはどこまで追求してもし過ぎということはないので、研修、会議等で安全意識の向上を図ることがとても大切になります。また、事故を未然に防ぐために、ひやりとした小さな事案やけがを職員が共有して、事故を未然に防ぐ方策がより大切と考えられます。
- ・預かり保育の子どもが増えている中で安全で質の高い保育を行うために、人員配置を工夫していくことが望まれるとの意見が職員からありました。早急な対応によって安全で質の高い預かり保育を目指していただきたい。
- ・体験保育について、いろいろな経験をさせていただいているという評価と、そこまで海での経験が必要なのかという評価をいただいております。安全が100%確保できる範囲での水遊び体験の実施を検討していただきたい。
- ・保護者から多くの肯定的な意見や改善要望の意見をいただきました。園としての方針や重点を保護者の皆様にご理解していただく努力を今以上にしながら、改善できる点は改善をお願いします。

2. 保健・安全について

- ・今年度から、感染症り患状況を連絡アプリで保護者に配信しており、保護者から安心できるとの評価をいただいております。家庭と園が子どもの健康について、このように情報を共有し、また園から情報を発信することがより望まれます。
- ・あそび場や遊具等の安全な環境を維持するために、定期的な点検をはじめ、職員全員が安全を意識して保育に当たることが大切です。今まで以上に重点を置き、安全な保育を目指していただきたい。
- ・給食について、ほぼ国内産の材料を使い安心。玄関に給食を表示してくれていて子どもとの話題に、とのご意見がありました。物価高で大変かと思いますが、今後とも安心して美味しい給食の継続提供をお願いします。

3. 研修（資質向上の取組）・組織分掌運営について

- ・より安全で質の高い保育は、先生方の研修によって高まると言われています。幼稚園団体等の研修と園内研修の効果的な研修により、先生方の意欲、知識、技能が高まるような計画・実施が重要になります。今後も、バランスよく、先生方の意欲が高まるような研修の実施を目指していただきたい。
- ・園内の保育以外の仕事を、先生方が責任を持ち計画的に実施できる分担体制の構築により、意欲的に実施していけるので、そのような組織の構築・改善を図っていただきたい。

4. 保護者・地域の方との連携と情報提供について

- ・家庭で必要な行事予定が最終版でない場合があるので確実な配信を、保護者が参加する行事の案内は早めに連絡してくれるとありがたい、との要望がありました。改善にむけての取り組みをお願いしたい。
- ・いろいろなメディア等を使って、保護者・地域に望まれる情報の発信をさらに進めていただきたい。

(文責 酒井義信)